

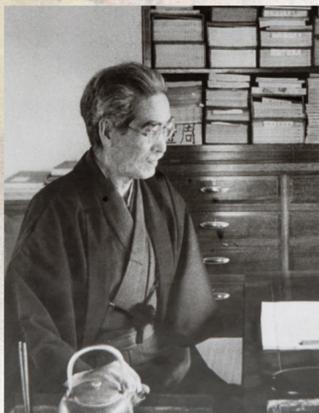
名古屋大学附属図書館 2007年秋季特別展

ゆう しん

# 「遊心」の祝福

まさる

## —中国文学者・青木正兒の世界—



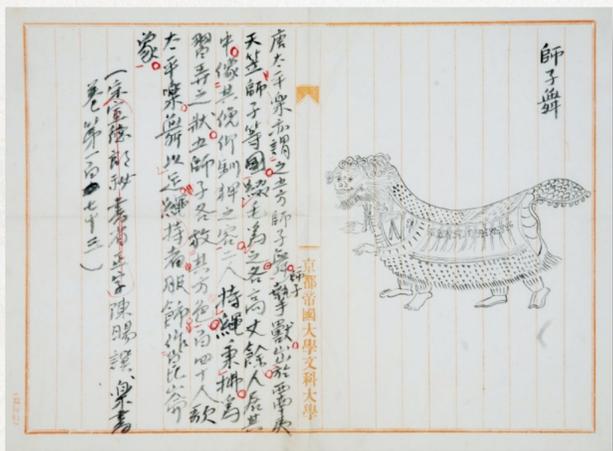
青木正兒

近代日本の代表的な国際派文人だった青木正兒(1887~1964)。彼の根本には、「遊心」があった。「遊心」とは、名利を離れ「自己を楽しませむ以外の欲求や目的を持たない芸術的心境」のことである。中国文化の大字宙を自由にめぐった青木の詩魂が出会ったもの—それは祝福に満たされた気韻の結晶(戯曲・詩文・書画・名物など)だった。その歓喜の足跡は、今日の我々に大きな夢と希望を提供してくれるであろう。青木が収集した漢籍や資料は、没後、遺族より名古屋大学附属図書館に寄贈され、「青木文庫」として保管されている。今回、そのうちとくに貴重なものを中心にして、「遊心」の世界をかいま見たい。

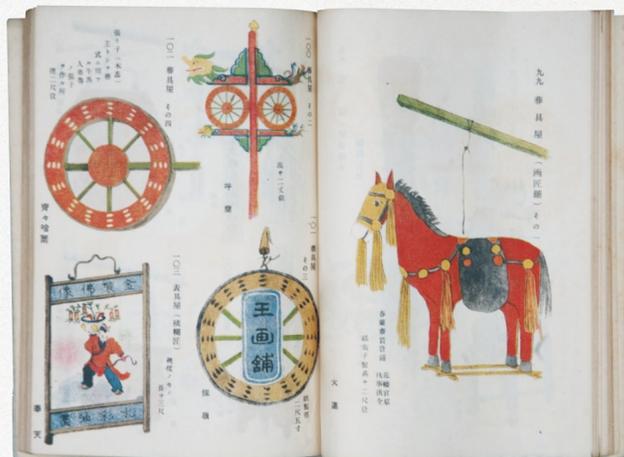
天遣為老農故鄉山園三畝鏡湖傍  
嫩莎經雨如秋綠小蝶穿花似陶真  
斗酒逢人笑東風天雨或雲飛  
相逢但



「封神演義」



自筆研究ノート



店の看板図

2007年10月1日[月] ~ 10月19日[金] 9:30~17:00 (土日・祝祭日も開館)

場所 名古屋大学中央図書館4階展示室

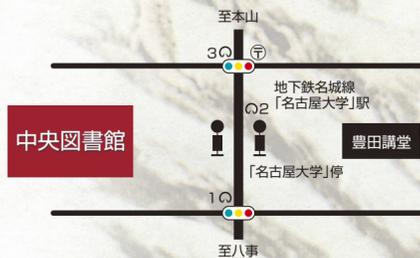
主催 名古屋大学附属図書館・附属図書館研究開発室 共催 名古屋大学大学院文学研究科 後援 日本中国学会、愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市の各教育委員会

講演会 第一部 講師：永澄憲史氏(京都新聞・南丹支局長)  
演題：「陶然自樂として—ジャーナリストの目に映った青木正兒」

第二部 講師：井上進氏(名古屋大学大学院文学研究科教授)  
演題：「好むことと知ること—青木正兒の学問」

日時：2007年10月13日(土) 第一部13:00~14:30 第二部14:40~16:10  
場所：中央図書館5階多目的室

問合せ先 名古屋大学附属図書館：名古屋市中種区不老町(〒464-8601) (車でのご来場はご遠慮下さい) 地下鉄名城線「名古屋大学」1番出口徒歩3分  
TEL 052-789-3667(庶務掛) / FAX 052-789-3693 / 電子メール shomu@nul.nagoya-u.ac.jp / URL http://www.nul.nagoya-u.ac.jp



入場無料

